

令和5年度第1回岡山市総合教育会議

日 時：令和5年8月29日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

（1）「やる気につながる好奇心の醸成」に向けた取組について

（2）育む5つの力の基礎となる学力の向上に向けた取組について

3 閉 会

「やる気につながる好奇心の醸成」に向けた取組

めざす子どもの姿(第2期教育大綱)：自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

活用力

表現力

向上心

社会性

人権尊重の精神

課題

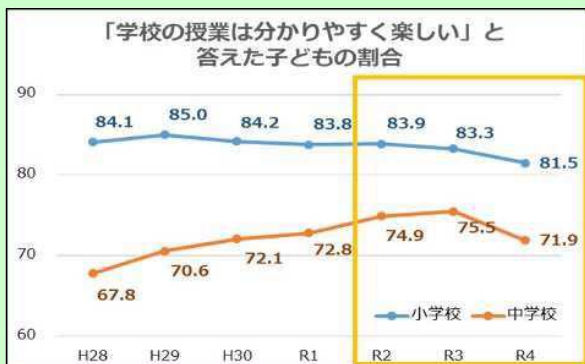
子どもの学校生活における充実感や達成感が低下
→学ぶ意欲につながりにくくなっているのではないかと
→他者との関わりや体験の機会の充実を図る必要があるのではないかと



目標値 (R7)

小学校 90.0%

中学校 88.0%



目標値 (R7)

小学校 87.0%

中学校 82.0%

岡山市教育に関する総合調査より

そのために

子どもの好奇心

めざす子ども像へ

令和5年度の重点的な取組

「やる気につながる好奇心の醸成」

○ 子どもの体験活動の充実

- ・めだかの学校：高精細動画の導入やイベント実施
- ・オリエント美術館：情報可視化ツールの導入や特別展実施
- ・文化財課：千足古墳の一般公開や体験講座実施 など

○ 家庭教育に関する支援の充実

- ・講演会や研修会へのアドバイザー派遣
- ・家庭で取り組むべきこと等をまとめたリーフレットの配布
- ・関係団体等と協力した参加・体験型のイベントを通じた子育てに関する情報提供及び相談機会の提供 など

○ 教員の指導力の向上

- ・授業改善資料の作成及び研修の実施
- ・人間関係づくりに関する資料の作成及び研修の実施
- ・中学校区の保育・授業研究会における指導助言 など

育む5つの力の基礎となる学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査の結果から～

大綱策定前(H28)

第1期大綱(H29～R2)

第2期大綱(R3～R7)

- ▲全国平均レベルを下回る。
- ▲考える力が育っていない。

《目標》
偏差値 小学校51 中学校50

- 全国平均レベルになった。
- 基礎的な知識を身に付け、「考えることができる子ども」が育ってきた。
- 課題に粘り強く向き合うようになった。
- ▲身に付いた知識を関連付けて答えを導き出す力が弱い。
- ▲考えの理由を明確にして説明する力が弱い。

《目標》		《R5の状況》
■ 全国平均レベル以上の学力 小学校・中学校50以上	→	達成
■ 記述式問題の正答率 対全国比1以上	→	達成
■ 探究的な学習をしている児童生徒 全国平均レベル以上	→	未達成
活用力		表現力
		向上心

教育大綱で定めた取組

<継続する取組>

- ◆教育委員会の学校訪問による指導助言(学期1回以上)
- ◆校長会との情報交換
- ◆校長の授業参観による指導助言(週2回以上)
- ◆調査結果を効果的に活用した授業

<新たな取組>

- ◇議論し合う活動や探究する活動を入れた授業づくり
- ◇ICTの効果的な活用
- ◇若手教員が指導方法を直接学ぶ研修等の充実

【R5調査結果の分析】

◎記述式問題の正答率が全国平均レベル以上

・「理由等を加えて、自分の考えを書くこと」を意識した授業改善が進んでいる。

▲無解答率が高い

・様々な形式の複数の資料から必要な情報を読み取り、考えを記述することに課題が見られる。

▲小学校算数の基礎的な力に課題

・岡山つ子アセスの経年データから、「小数の計算」に課題が見られる。

▲情報を収集し、考えをまとめて発表する学習が十分でない

- ・自分の考えを整理して発表したり、話し合い活動をととして考えを広げ・深める学習が十分でない。
- ・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動が十分でない。

育む5つの力の基礎となる学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査の結果から～

結果から分かった主な課題

基礎基本の確実な定着

計算の意味理解

問題場面や何を問われているかの把握

複数の情報から必要な情報を取り出して、考えを表現すること

R5の具体的な取組

個々の課題に応じたICTの活用

- ・授業や授業外でのデジタルドリルやデジタル教科書の活用推進

岡山市の課題に沿った良問の提供

- ・知識・技能の定着を確認するための問題の提供
- ・習得した知識・技能を活用する問題の提供

提案授業（国・算・総合）の共同研究

- ・学校との共同研究（国語、算数、総合）により、学習指導案やワークシート等を作成・提供

授業改善に必要な情報を発信（毎月）

岡山市が目指す授業の共通理解を図るための研修を実施

指標

①全ての学校でふりかえりを実施する。
 <ふりかえりをしている小・中学校の割合>
 R4 85.5% → R7 100%

②無解答率を全国平均以下にする。
 <全国学調の無解答率の対全国比>
 R5 1.1 → R7 1.0以下

③子どもたちがICTを活用する授業を実施する。
 <授業で毎日ICT機器を使用している子どもの割合>
 R2 小4.4% → R4 17.9% → R7 100%
 中4.7% 6.6% → 100%

R5全国学力・学習状況調査の結果

※R2は実施なし

① 偏差値

		H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5
小学校	国語	50	51	50	51	50	51	50
	算数	50	50	50	50	50	50	50
中学校	国語	48	49	49	50	50	50	50
	数学	48	49	49	50	50	50	51
	英語				49			50

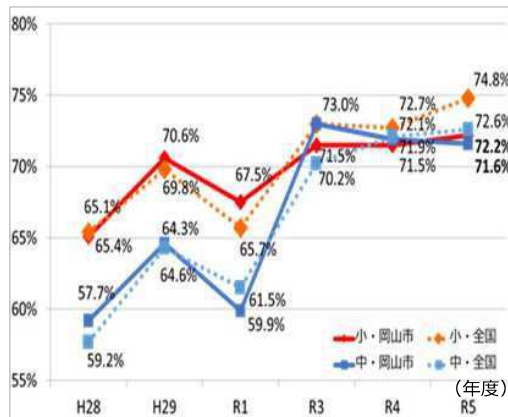
② 無解答率の対全国比

		H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5
小学校	国語	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	1.0
	算数	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9	1.1
中学校	国語	1.7	1.4	1.5	1.4	1.1	1.1	1.1
	数学	1.3	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0
	英語				1.2			1.1

③ 記述式問題の正答率



④ 探究的な学習をして いる児童生徒の割合



⑤ 質問紙調査

○先生はよいところを認めてくれている	小：93.1% (3.3)	中：91.0% (3.7)
○自分には、よいところがあると思う	小：87.3% (3.8)	中：83.4% (3.4)
●自分の考えがうまく伝わるよう、話の組立てなどを工夫して発表していた	小：62.4% (△1.3)	中：57.4% (△4.7)
●話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている	小：81.5% (△0.3)	中：78.7% (△1.0)
●授業で、コンピュータなどを毎日使用する子どもの割合	小：17.9% (2.2)	中：6.6% (△0.2)

R5岡山っ子アセス(岡山市学力アセス・i-check)の結果

⑥ 偏差値

		国語		算数・数学	
		R4	R5	R4	R5
小学校	2年	50	50	50	50
	3年	50	49	49	49
	4年	49	49	49	49
	5年	50	50	51	48
中学校	1年	51	51	51	50
	2年	51	50	52	50

⑦ 無解答率の状況

		国語		算数・数学	
		R4	R5	R4	R5
小学校	2年	6.6	8.9	5.5	3.7
	3年	11.8	10.6	7.9	7.5
	4年	9.8	9.9	4.8	5.8
	5年	7.4	6.7	7.8	7.1
中学校	1年	5.1	8.9	3.6	4.3
	2年	7.6	9.3	7.2	7.6

⑧ 記述式問題の正答率

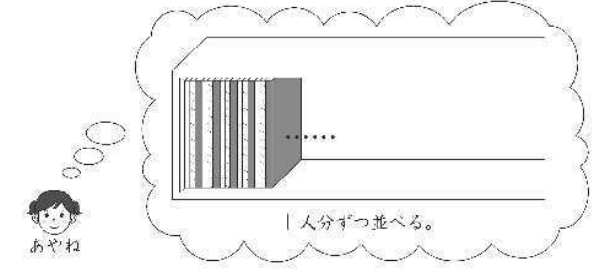
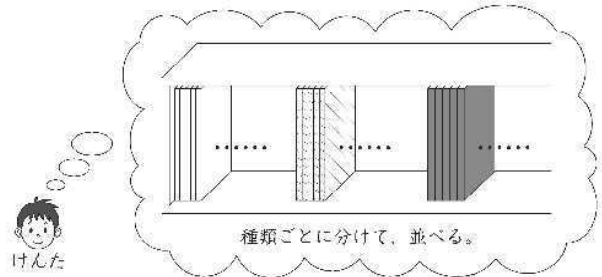
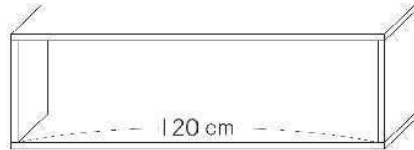
		国語		算数・数学	
		R4	R5	R4	R5
小学校	2年	0.97	0.98	0.82	0.81
	3年	0.92	1.03	0.96	1.19
	4年	0.92	0.92	1.04	0.99
	5年	0.94	0.96	1.14	0.81
中学校	1年	1.05	1.04	1.00	0.98
	2年	0.95	0.95	0.97	0.87

※岡山っ子アセスはR4年度から実施。
この他に社会・理科・英語も実施している。

令和5年度全国学力・学習状況調査 小学校第6学年算数より

3

(2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4cm、1.6cm、2cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。下のような、はば120cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 入れることができる。
- 2 入れることができない。

答. 115cm / 1

正答率		無解答率	
岡山市	全国	岡山市	全国
57.5%	56.7%	4.2%	4.0%

解答類型	岡山市	全国
◎式や言葉を正しく記述し、115cmと解答	57.5%	56.7%
×式や言葉を正しく記述したが、115cm以外の解答	10.9%	11.1%

【岡山っ子アセス】小数のたし算・ひき算

R 4	正答率		全国との差
	岡山市	全国	
小5	83.2%	83.9%	▲0.7
小4	25.0%	35.9%	▲10.9

小数の計算に問題があるのではないかな？

【岡山っ子アセス】小数のたし算・ひき算

R 5	正答率		全国との差
	岡山市	全国	
小5	43.0%	64.4%	▲21.4
小4	47.1%	54.5%	▲7.4

小5は全国をやや下回る。小4に大きな課題。

全国との差が開いた。

○小数の計算について、定着ができていない。
○小数の計算方法（位合わせ等）の意味の理解が不十分である。

(参考) 小数の学習時期：小3前半 たし算・ひき算
小4前半 たし算・ひき算
小4後半 かけ算・わり算

記述問題	正答率		無解答率	
	岡山市	全国	岡山市	全国
1 四 複数の文章と資料を読む	81.9%	82.5%	12.5%	10.8%
2 四 複数の文章を読む	67.9%	67.5%	4.3%	3.9%
3 四 1種類の資料を読む	70.9%	72.1%	11.3%	10.2%
4 三 複数の文章を読む	50.1%	50.0%	22.6%	20.7%

「理由や事例を加えて、自分の考えを書く」ことに取り組み、成果が現れつつある。

正答率が高いにも関わらず、無解答率が高い。

複数の様々な資料を読み取ったうえで、考えを述べることに課題があるのでは？

選択問題	正答率	
	岡山市	全国
1 二 情報と情報の関係についての理解	64.1%	65.1%

選択問題だが、複数の情報の関係の読み取りは苦手な傾向がある。

○記述式問題のうち、様々な形式の複数の資料から必要な情報等を読み取り、考えを記述することに課題がある。

四

【インタビューの様子】の□で南さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【インタビューの様子】から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。